

個別施設計画

策定年月 H31.1

施設名	アトムサイエンス館		所在地	苫田郡鏡野町上斎原1539-1		
敷地面積	1,358.39 m ²		棟数	1 棟 (計画記載対象 1 棟)		
延床面積	645.18 m ²			※対象は200m ² 以上の建物(車庫、倉庫等は500m ² 以上) ※公舎・寮は全て対象		
設置目的	原子力広報研修施設					
【想定される自然災害】						
予想震度 <u>4</u> 津波 <u>-</u> 浸水 <u>-</u>						
建築規制	都市計画区域外					
エネルギー使用量 (2017年度)	電気 58,678 kwh	ガス - m ³	水道 - m ³	燃料 (重油) 5,580 ℓ		
管理上の特記事項	敷地内未利用地 なし 敷地内貸付地 なし					

1. 施設内建物の概況

名称	本館棟	
築年(西暦)	1986年	
構造	鉄筋コンクリート造 2階	
建築面積	406.12 m ²	
延床面積	645.18 m ²	
主要な用途 (室名等)	展示室 435.40m ² 研修室 45.90m ² 機械室	
主要な設備 (屋外を含む)	電力設備(受変電設備) 消防設備(自動火災報知設備) 空調設備	
利用状況	高	
耐震性 ※1	有	
躯体(コンクリート)の健全性 ※耐震診断済のみ	圧縮強度 ※2	—
	中性化 ※3	—
長期使用の適否	建物傾斜 ※4	適
	地盤沈下 ※5	適
劣化状況 (劣化が進んでいるもの)	該当なし	

※1 耐震性有:耐震診断の結果Is値≧0.6(震度6強~7程度で倒壊する危険性が低い)又はS56.6以降に建築の建物 (S56.6より前に建築の車庫・倉庫は耐震診断対象外)

※2 圧縮強度:13.5N/mm2未満は不適 ※3 中性化:築後65年時点でコンクリートの中性化が30mm以上の見込みは不適 ※4 傾斜が有る場合は不適 ※5 地盤沈下が有る場合は不適

2. 対応方針

(1) 施設全体の方針

劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を行い、施設を継続する。

(2) 建物ごとの方針

区分	対応方針
本館棟	・設備等の修繕・改修を行い、長寿命化を図る。

3. 施設全体のスケジュール

(概要)

劣化が進んでいる設備等の修繕・改修を順次行う。

(単位:億円)

区分	対応方針	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	2024	2025	2026
本館棟	設備等の定期更新 (修繕・改修を含む)						受変電設備				
								外壁			

4. 概算費用

--